

次	時	学 習 活 動	資質・能力のための支援 ㊦課題解決能力㊦見通し㊦共感性	評 価 規 準
一	1	オリエンテーション		
二	2	まわりの長さがどれも16になっている池の広さの比べ方を考え、うすい紙に写し取って重ね合わせたり、ます目の数がいくつ分かで比べたりする。 (習熟度別)	㊦感覚だけで広さを見るのではなく、方眼の数に着目するよう助言する。	【考】 広さの比べ方を考える。 【知】 重ね合わせの方法と比べて、任意単位を用いた比較のよさを理解する。
三	3	方眼紙上に書かれた形の面積を比べる。 面積の単位 cm^2 を知り 1cm^2 を単位にして面積を求める。(習熟度別)	㊦方眼紙上に書かれた形の面積を比べ、どちらが広いかを実感させるために、方眼の数で比べよう助言する。 ㊦面積の単位 cm^2 を知り、 1cm^2 を単位にして面積を求められることを助言する。	【知】 面積の単位 cm^2 を知る。 【表】 cm^2 を単位にして面積を求めることができる。
	4	長方形や正方形の面積を求める公式を 1cm^2 の正方形が何個並ぶかを基に考える。 (習熟度別)	㊦ 1cm^2 の正方形が縦に何個、横に何個並ぶかを基に、長方形や正方形の面積を求める公式を導き出せるようにする。	【考】 長方形や正方形の面積を求める公式を考える。 【表】 公式を使って、長方形や正方形の面積を求めることができる。
	5	面積と縦の長さが分かっているときの横の長さの求め方を考える。(習熟度別)	㊦3年で学習した「かくれた数(いくつ)」を振り返り、既習した公式をもとに横の長さを導き出せるようにする。	【考】 求積公式を活用して、横の長さを考える。
四	6	L字型などの複合図形の面積の求め方を考える。 (本時・習熟度別) ・チャレンジコース ・ファイトコース ・ホープコース	㊦L字型などの複合図形に補助線を引き、長方形や正方形が合体してできていることを理解させる。	【考】 複合図形の面積を既習の長方形や正方形の面積の公式を用いて求めることができる。
	7	いろいろな複合図形の面積を求める。(習熟度別)	㊦複合図形の面積を求められるように、分割・補完など前時で学習した方法を黒板に掲示しておく。	【考】 複合図形の面積に適した方法を考える。
五	8	面積の単位 m^2 を知り、 1m^2 を単位にして面積を求める。 (習熟度別)	㊦面積の単位 cm^2 を知り、 1cm^2 を単位にして面積を求めたことを助言する。 ㊦大きな単位を基準にして考えるよさに気付かせるために、長さの単位 cm と m の関係を想起させる。	【知】 面積の単位 m^2 を知る。 【表】 m^2 を単位にして、面積を求めることができる。
	9	m^2 と cm^2 の単位間の関係を理解する。 1m^2 の新聞紙を使っていろいろ調べることで、 1m^2 の量感を身につける。(習熟度別)	㊦長さや面積のちがいを明確にするために、長さの単位換算について復習させる。 ㊦グループで 1m^2 の新聞紙を使って教室やスペースなどの面積を調べたり、 1m^2 の新聞紙の上に何人乗れるか実験したりすることで、 1m^2 の量感を実感させる。	【知】 m^2 と cm^2 の単位間の関係を理解する。 【関】 m^2 の新聞紙を使っていろいろ調べる活動に関心をもって取り組む。
	10	面積の単位 k m^2 を知り、 1k m^2 を単位にして長方形の面積を求める。 k m^2 と m^2 の単位間の関係を理解する。(習熟度別)	㊦面積の単位 m^2 を知り、 1m^2 を単位にして面積を求めたことを助言する。 ㊦宇多津北小の校区の地図を見せ、 m^2 を単位にして表すと大きな数になることにふれ、新しい単位(k m^2)の必要性に気づかせる。また、南北を縦、東西を横と考えさせて、既習の公式でおよその面積を求められることに気づかせる。	【知】 面積の単位 km^2 を知る。 【表】 1k m^2 を単位にして、面積を求めることができる。 【知】 k m^2 と m^2 の単位間の関係を理解する。
六	11	たしかめ道場		
	12	単位面積のいくつ分や面積の公式を使って、面積を求める。 (習熟度別)	㊦既習した公式で面積が求められるように、黒板に公式を掲示しておく。	【知】 単位面積の個数で面積を数値化し、広さを比べる。 【表】 公式を使って面積を求めることができる。
	13	決められた面積になるいろいろな形を考える。 (習熟度別)	㊦方眼黒板を用いて 1cm^2 になるいろいろな図形を表し、正方形の半分形をもとにしても図形の面積が求められることに気づかせる。	【考】 決められた面積になるいろいろな形を考える。